

松尾中学校英語科学習指導案

授業日 平成29年10月26日(木)
学習者 2年B組
(男子14名 女子12名 計26名)
場所 英語科教室(東教室)
指導者 教諭 山内 浩(T1)
講師 山口富喜子(T2)
ALT Jason Smith

1 単元名 PROGRAM8 Friendship across Time and Borders pp.76-79 (Sunshine English Course 2 開隆堂)

2 単元の目標

- (1) トルコと日本の時代と国境を越えた友好関係について、時間軸に沿って読み取ることができる。
- (2) 「よりよい世界」を築くために大切なことについて自分の考えとその理由を発信することができる。

3 単元について

(1) 生徒観

平成28年度学校評価アンケートの結果より、「英語の授業で学習したことを使って、自分で話したり、読んだり、聞いたり、書いたりできる。」という質問に対して、「あてはまる・だいたいあてはまる」と答えた割合は全体の83%であったことから、本校生徒は英語学習に意欲的に臨み、英語を実際に使おう・使えるようになりたいという意識を持っていることがわかる。

平成28年度岩手県中学1年生英語確認調査 CAN-DO テストの結果は以下の通りである。

合計 正答率	領域別			観点別		
	「聞くこと」	「読むこと」	「書くこと」	「理解」	「表現」	「知識」
62.1	88.2	57.5	57.4	74.1	53.3	52.0
県比-0.5	県比+4.1	県比-2.2	県比+2.7	県比+1.2	県比+11.8	県比-7.9

県平均以下の正答率となった主な設問としては、「簡単な標識を正しく理解することができる。(-17.4)」「対話の流れに沿った文同士の関係(つながり)を理解することができる。(-0.3)」「対話文の内容を正しく読み取り、その内容に合う正しい答えを選択できる。(-1.1)」「英語の広告や案内などから必要な情報を探し出して読み取ることができる。(-2.4)」などがあつた。また4月に実施した平成29年度教研式標準学力検査NRTの結果から、「読むこと」52.0(全国比99)、「外国語理解の能力」61.8(全国比98)、中領域「英文を正しく読み取る」66.2(全国比92)、「長文の大切な部分を読み取る」39.2(全国比96)に落ち込みが見られた。

以上のデータから読みとれる現状・課題は、「読むこと」に苦手意識を感じている生徒が多いということである。まとまった量の英文を読み、必要な情報や筆者の意図をつかむための訓練を積んでいく必要がある。

(2) 教材観

本単元は、1890年に起こったトルコ船エルトゥールル号の沈没事故とその救出や介抱に当たった和歌山県串本町の住民たちの様子、そしてイラン・イラク戦争下フセイン大統領によるイラン上空の航空機に対する無差別攻撃の開始宣言が出された際のトルコ機による日本人救出についての実話に基づいた感動的な話であり、『私たちの道徳』(文部科学省)にも取り上げられるなど道徳的要素も含まれている。現在に至るまで長い間友好関係にある日本とトルコ両国の絆を深めるきっかけとなった2つのエピソードを読み取りながら、よりよい世界を築くためには「助け合い」が大切であることを学び、他者や社会の危機に際してどのように行動すべきなのかということについて考えさせたい。また「感謝する心」や「日本人の精神」についても考える機会とし、互いに意見を交流することを通して、生徒が興味・関心を持って主体的に「読む」活動を行いたい。

(3) 指導観

以上のような生徒と教材の実態を踏まえ、次の2つの方法で本単元を扱うこととする。

まずは、諸調査結果より明らかとなった本校生徒が苦手とする「まとまった量の英文を読むこと」を改善するためにも、英文を読むために必要な語彙力の育成、音読による速読練習、スラッシュリーディングやスキミング等一定時間内に読み取るための練習、多くの英文に触れる「多読」などの活動を継続して行いたい。

次に、必要な情報を正確に読み取ることにとどまらず、得た情報を元にして自分の考えを相手に伝えるという能動的な学びを進めていきたい。はじめに読んだ内容のリテリングを行い、内容理解をより正確に深めながら自分の言葉で説明する活動を通して発信する力を養う。そしてペアやグループでのディスカッションを通して仲間の多角的・多面的な考え方を知り、新たな自分の考えを構築させる場を設ける。英語で自分の考えを述べることにも挑戦させ、教科書本文の表現を最大限に活用させながら、「書く」力も高めていく。学習指導要領では、「2内容(1)言語活動 ウ読むこと(オ)話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。」とあり、本単元と関連する。

4 単元の評価規準

(ア)コミュニケーションへの関心・意欲・態度	(イ)外国語表現の能力	(ウ)外国語理解の能力	(エ)言語や文化についての知識・理解
	①まとまりのある文章を読んで、自分の考えとその理由を書くことができる。	①時間軸に沿って、トルコと日本の時代と国境を越えた友好関係について読み取ることができる。	

5 単元の指導・評価計画

時間	○ねらい ・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	○単元ガイダンス ・本単元で身に付ける技能や理解する内容について知る。 ・warm-upとして、世界の国々の名前を調べる。 ・映画『海難1890』の一場面を見て、初発の感想を書く。 ・本単元で扱う新出語句の一括導入と発音練習。 ・Section1/2/3を通して読み、時間軸に沿って並べかえる。	ウの①	後日ペーパーテスト 活動の観察 ワークシートの記述
2	○Section2(p.76)の内容を読み取り、1890年にトルコから日本に 来た船が帰路の途中でどのようになったか、また串本町の人々が トルコの人々のためにしたことを知り、自分の考えを書く。 ・教科書本文を理解する。 ・内容をリテリングする。 ・“What can we do for others to make a better world?”というBig Questionに対する自分の考えに根拠を添えて書く。	ウの① イの①	後日ペーパーテスト 活動の観察 ワークシートの記述
3	○Section1(p.77)の内容を読み取り、1985年に日本人がイランから 救出されるまでの経緯について概要を把握し、自分の考えを 書く。 ・教科書本文を理解する。 ・内容をリテリングする。 ・“What can we do for others to make a better world?”というBig Questionに対する自分の考えに根拠を添えて書く。	ウの① イの①	後日ペーパーテスト 活動の観察 ワークシートの記述
4 本時	○Section3(p.78)の内容を読み取り、1999年トルコ地震や2011年 東日本大震災が起きたときに、両国がどのようなことをしたの かを知り、自分の考えを書く。 ・教科書本文を理解する。 ・内容をリテリングする。 ・“What can we do for others to make a better world?”というBig Questionに対する自分の考えに根拠を添えて書く。	ウの① イの①	後日ペーパーテスト 活動の観察 ワークシートの記述
5	○Section1~3全体を振り返る。 ・単元全体の音読練習。 ・P79 After Readingに取り組む。 ・時間軸に沿って、単元全体の内容をリテリングする。 ・“If we keep up these efforts, our world will be a better place. A little help for others goes a long way.”について自分の考えに根拠 を添えて書く。ペアやグループで交流する。	イの① ウの①	後日ペーパーテスト 活動の観察 ワークシートの記述
後 日	<ペーパーテスト> ◇時間軸に沿って、物語のあらすじを読み取る問題	ウの①	後日ペーパーテスト

6 本時の指導

(1) 本時の指導目標

①時間軸に沿って、トルコと日本の時代と国境を越えた友好関係について読み取ることができる。

【外国語理解の能力】⇒評価方法：振り返りシートへの記述、後日ペーパーテスト

②まとまりのある文章を読んで、自分の考えとその理由を書くことができる。

【外国語表現の能力】⇒評価方法：活動の観察、ワークシートへの記述、振り返りシートへの記述

(2) 本時の評価規準

観点	評価規準	具体的評価規準		
		A：十分に満足できる	B：おおむね満足できる	C：支援を要する生徒への手だて
外国語理解の能力	時間軸に沿って、トルコと日本の時代と国境を越えた友好関係について読み取ることができる。	英文を読み、内容に関する感想と質問を英語で話すことができる。また文法的・構造的な指摘を行うことができる。	英文を読み、自分が書いたものと同じ部分や異なる部分など興味を持った箇所について感想を伝えることができる。	語句の補足や内容の説明を与えながら個別指導にあたる。
外国語表現の能力	まとまりのある文章を読んで、自分の考えとその理由を書くことができる。	自分の考えや理由が、綴りや語法の誤りが無く、相手に伝わるように書かれてある。	自分の考えや理由が相手に伝わるように書かれている。文意が通じる程度の綴りや語法の間違ひがある。	自分の考えとその理由の表現方法を再確認する。(ヒントカードの活用)

(3) 指導構想

前時までには、英文を読むためのスキルとして欠かすことのできないペアによる語彙のインプット練習、日本語と英語の語順の違いに関する指導、読む力をつける練習としてのスラッシュリーディング、速読や直読直解につながる音読練習（日本語↔英語ワークシートの活用）等の指導に継続して取りくんできた。さらに帯学習として教材「読みトレ50」を活用した多読活動を行ってきた。生徒は短い物語を読むことを楽しみながら、簡単な質問に答えることを通して「ひとりでも英文を読める」という自信を身につけつつある。

本時では、上記「読むこと」に関わる指導の一方で、「生徒の読みたくなる気持ち」や「少々分からなくても自分の力で読み進める力」の育成、また「その読んだことをもとに活動すること（読む必然性）」に焦点を当てた授業を展開したい。ただ目の前の英文を漠然と読むだけではなく、場面や状況に応じて読みとる目的を与えることで、適切に内容を読み取る力やもっと読んでみたいと思う意欲が高まると考える。本時では、できるだけ実践に近い読みの条件を出すために新聞記事風にリライトしたトルコと日本で起きた2つの出来事を読み、インフォメーションギャップのある相手に伝える活動を行う。次に2つの話に共通するキーワードを考えさせるために新聞記事にタイトルを付けさせる活動を行う。そして前時までと同様に“**What can we do for others to make a better world?**”という **Big Question** に対する自分の考えに根拠を添えてペアに伝え、ノートに書くことを本時の最終目標とする。前単元までにおいて、**I think (that)...because...**や **I have two reasons. First...**などの表現を用いて、自分の考えとその理由について述べる練習を行ってきた。 (将来のために学ばなければならない教科、Severnさんの主張に対する意見・感想、将来の夢など。) それらの意見文をグループ内で互いに読みあい、たくさんの英文を読む経験を積む。クラスメートの書いた多くの種類の英文に1度に触れることができることは、英文を読むという経験を積ませるための「多読」にもつながる。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	学習内容	留意点・評価
導入 10分	0 Singing a song “You Raise Me Up” 1 Greeting & Teachers’ Talk 2 Chat Time 3 Today’s Goal (本時の学習課題の把握)	英語学習の雰囲気慣れ、英語の歌を楽しむ。 (声を出す。集中して聞く。) 英語であいさつを行う。週末の天気や予定について対話しながら、対話を楽しむ。 Big Question “What can we do for others to make a better world?”について、前時までの内容を元にペアで対話し、前時までの学習内容を想起する。 本時の学習課題を把握する。	A L Tとの役割分担を行う。 ペアワークが円滑に進むように観察と指導を行う。
展開 35分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 学習課題 「より良い世界」を築いていくために必要なことは何か、考えよう。 </div> 4 Oral Introduction (プレリーディング) 5 Reading-1 (Big Questionに迫るために本文を読む。) 6 Speaking (Big Questionについて、本文の内容に基づいて話す。) 7 Writing (Big Questionについて、本文の内容に基づいて書く。) 8 Reading-2 (自分の考えをさらに深めるために、友だちが書いた意見文を複数読む。)	①JTEとALTがパワーポイントの画面の絵を用いながら本時にかかわる場面について説明しているのを聞き、スキーマを活性化させる。 ①本文を「新聞記事風」にアレンジした2つの英文のうち、ひとつを読み、本時のテーマの概要を把握する。(1999年トルコ地震と2011年東日本大震災について) ②読み取った内容について、パートナーに伝える。 ③ペアで協力して新聞記事に見出しを付けながら、キーワード探し ④2つの内容が書いてある教科書78ページを読む。 ⑤内容確認のための発問に答える。 (教科書に下線を引く。) Q：トルコと日本で地震が起きたとき、両国がしたこととは何か。 ①JTEとALTのモデルを聞き、やり取りの仕方に慣れ親しむ。 ②考えを伝え合い、テーマについて音声で確認する。 ③自分の考えをALTに伝える。(全体の前で) ①自分の考えをクラスメートに伝えるために書く。教科書本文の内容を根拠とし、理由付けしながら書く。 ②書き終わったらALTによる添削を受ける。 ①クラスメートとノートを交換して意見文を読みあう。 ②相手の意見を読むことによって、同じ考え方や新しい意見に共感しながら、自分の考えを広げる。 ③読んだ人は、相手の意見に対して必ず返事をする。 ④1分間で別のクラスメートと交代する。 (①～④を繰り返す。)	内容に関する簡単な質問に答えさせる。(Interaction) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 評価：時間軸に沿って、トルコと日本の時代と国境を越えた友好関係について読み取ることができる。 【外国語理解の能力】 ⇒評価方法：活動の観察、振り返りシートへの記述、後日ペーパーテスト </div> ○意味や状況を考えさせながら対話させる。 ●語句や語順、文構造のヒントを提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 評価：まとまりのある文章を読んで、自分の考えとその理由を書くことができる。 【外国語表現の能力】 ⇒評価方法：作文チェック、振り返りシートへの記述、後日ペーパーテスト </div>
終末 5分	9 Check Sheet (学習チェックシート：振り返り活動) 10 Greeting & Next Class	自己評価カードに記入しながら本時の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【生徒の記入例】教科書本文の中から根拠を探しだし、それを理由として自分の考えを表現することができた。自分とは違う意見や根拠もなるほど思った。また友だちの意見を読んで内容をつかめたので、これからもいろいろな種類の文を読んでいきたい。 </div> 家庭学習：Section3のインプット練習、音読練習 クラスメートの意見を読み、改めて自分の考えを書く。	

(5) 板書計画

Day		GOAL of PROGRAM8 セヴァンさんのように、世界へ発信するスピーチができるようになろう!
Thursday	Today's Menu	Today's Goal
Date	<ol style="list-style-type: none"> 1 Song 2 Chat Time 3 Reading(1) 4 Speaking 5 Writing 6 Reading(2) 7 Check sheet 	「より良い世界」を築いていくために 必要なことは何か、考えよう。
October		Japan Turkey
26th		
Weather	<div style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">In 1890, Japanese villagers rescued 69 Turkish people.</div> <div style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">In 1985, the Turkish planes came and help Japanese people.</div> <div style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 5px;">In 1999, after the earthquake, people in Wakayama sent many things.</div> <div style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 5px; text-align: center;">In 2011, after the earthquake the Turkish people helped the Japanese.</div>	
sunny		

松尾中学校授業改善方策シート

実施年月日	平成29年10月26日(木)	教科	英語	実施学年	2年
職名	教諭	氏名	山内浩		
単元名	PROGRAM8 Friendship across Time and Borders (Sunshine English Course2 開隆堂) 【単元のゴールの活動=セヴァンさんのように、世界へ発信するスピーチができるようになろう!】				
教科書のページ	76ページ~79ページ		指導要領解説のページ	16~17ページ	
指導要領の内容・項目など	2内容(1)言語活動 ウ読むこと(オ)話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。				
本時の目標	①時間軸に沿って、トルコと日本の時代と国境を越えた友好関係について読み取ることができる。 ②まとまりのある文章を読んで、自分の考えとその理由を書くことができる。				
本時の評価規準	観点	外国語表現の能力	評価規準	まとまりのある文章を読んで、自分の考えとその理由を書くことができる。	
		外国語理解の能力		時間軸に沿って、トルコと日本の時代と国境を越えた友好関係について読み取ることができる。	
授業者の工夫 (意図) (具体的な手立て)	読みとる力や読むことに対する意欲を高めるために、読むための目的を与えた読み取り指導を行う。(読んだことを相手に伝える、表現するために読む。)				
	読み取る力や読むことに対する意欲を高めるために、英文を読むための具体的な練習(スラッシュリーディングなど)を行い、読む機会を多く与える。またたくさんの英文を読む経験を積ませる。(多読)				
	表現する力(書く力)をつけるために、読み取って内容を理解した上で、それを表現すること(書くこと)へとつなげる指導を行う。また「書く」活動を行う前に、思考を整理するための「話す」活動を行う。				